

信州大学医学部附属病院および長野県内の医療機関に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年11月20日

「輸血関連インシデント並びに製剤破棄事例の収集・分析システムの構築」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5340
研究課題名	輸血関連インシデント並びに製剤破棄事例の収集・分析システムの構築
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院(輸血部)
研究責任者(職名)	柳沢 龍 (副部長)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2026年9月30日
研究の意義、目的	長野県内で発生した輸血に関連したインシデントやアクシデント、血液製剤破棄に関する情報を集めて、発生した理由やその予防策について検討します。
対象となる方	2026年9月30日までの期間に共同研究機関を含む長野県内の医療機関内や自宅において輸血が実施、または予定された方。また、それに関わった医療従事者や日本赤十字血液センター職員。
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、診療情報など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	記録媒体、郵送、電子的配信 等により提供を受けます
研究方法	上記の内容を収集し、輸血に関連したインシデントやアクシデントと各種診療記録との関係性の有無について検討し、適切な予防策を立てた上で医療機関にて情報共有を行います。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	厚生連北アルプス医療センターあづみ病院 (責任者:佐々木 朝海)、 飯田市立病院 (責任者:原 克実)、 伊那中央病院 (責任者:黒澤 彩子)、 昭和伊南総合病院 (責任者:小原 洋一) 長野赤十字病院 (責任者:植木 俊充) 諏訪赤十字病院 (責任者:笠原 寛) 長野県立こども病院 (責任者:坂下 一夫) NHO まつもと医療センター(責任者:伊藤 俊朗) 長野県赤十字血液センター所長(責任者:村上 純子)

研究代表者	主任施設の名称: 信州大学医学部附属病院輸血部 研究責任者: 柳沢 龍
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 大蔵 直樹(長野県健康福祉部薬事管理課) 電話: 026-235-7157 小嶋 俊介(信州大学医学部附属病院輸血部) 電話 0263-37-3240

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。